

西原村議会だより

ゆうすい

NISHIHARA VILLAGE GIKAI DAYORI

第113号 令和元年5月9日発行

No.113

2019.5.9

CONTENTS

- ◆3月定例会／P2～3
- ◆令和元年度一般会計予算・特別会計予算
総額七億四、〇二五万円
- ◆3月定例会／P4～5
- ◆平成30年度補正予算
- ◆質疑応答
- ◆第一回～第三回臨時会／P6
- ◆質疑応答
- ◆一般質問／P7～9
- ◆防災士の育成について
- ◆がん先進医療における助成制度の導入は
集約方法と住民意見への対処法は
- ◆小学校の生徒数が偏っているが対策は
災害時に頂いた支援物資の活用方法は
アンケートへの対応と人口を
増加させる為の計画は
- ◆各常任委員会報告／P10
- ◆合同常任委員会報告
- ◆熊本県後期高齢者
- ◆医療広域連合議会定例会報告
- ◆西原村復興対策特別委員会報告
- ◆請願書審議・よっていきなっせ／P11
- ◆河原小学校複式学級
解消に関する請願
- ◆白山姫神社社殿再建
- ◆職場からごんにはは・編集後記／P12
- ◆阿蘇ごうのとり保育園
にしはら保育園
- ◆故富永重芳氏に感謝!!

で入学おめでとう!!

あどけなさが可愛い
新入生のこども達!!



河原小学校に12名の1年生

新たな再生復活に向けて 村を目指して



平成31年度 当初予算 一般会計予算52億7,462万円

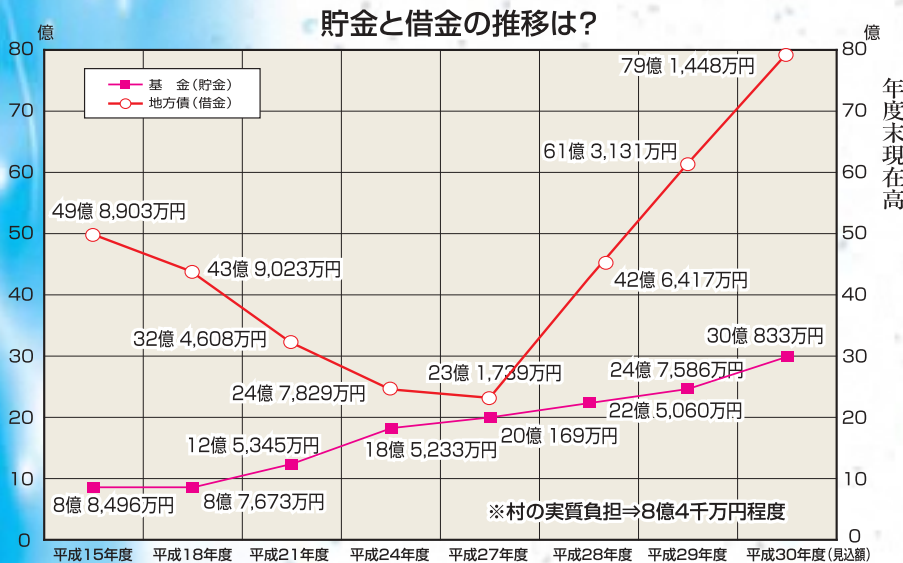
前年度比7億3,923万円増。主な要因は国庫及び県支出金や村債の増加だが、熊本地震関連の予算増。村税も7億6,231万円と約10%伸びており復調の兆しが見え始めている。今後、基金等を活用した工事も今年度がピークを迎える。まずは宅地再生にむけた工事の進捗に支障が無いよう業者への対応として一時借入金の限度額を今年度も最高50億円に設定した。



平成31年度各特別会計予算

項目	特別会計予算額	増減割合
国民健康保険	9億1,487万円	0.1%減
介護保険	7億5,490万円	0.1%減
後期高齢者医療	1億5,509万円	8.3%減
中央簡易水道	1億2,074万円	37.3%増
工業用水道	2,006万円	12.6%増

総額 72億4,025万円 成立



3月7日から15日までの9日間の会期で開催された。平成31年度一般会計予算・特別会計予算及び、平成30年度補正予算など議案18件を審議、全案件を原案どおり可決した。

12日には3名が一般質問を行い、主に震災復興対策や村民の健康に関し村政を質した。

最終日に同意2件、加藤教育委員の再任・目床新副村長の選任を採択した。

※平成28年熊本地震後の平成28～30年度にかけて、熊本地震関連事業を主とした地方債実質借入額は65億9千万円程度となる見込みだが、おおよそ10～15年にかけて償還する元利償還金に対し、国が定める借入対象各事業における各々の率において地方交付税の措置(災害復旧国庫補助事業においては95%の交付税措置等)があり、平成28年度以降の地方債予算計上額103億円のうち、村の実質負担は8億4千万円程度になる見込み。

※基金残高については、平成30年度において2億5千万円の取崩しを行ったが、財政調整基金や公共施設整備基金等に7億8千万円の積立を行ったことにより、基金総額としては前年度と比較し5億3千万円増となる見込み。

※平成31年度は、令和元年度に読み替えて下さい。

新元号『令和』スタートの中で、 希望に溢れる心豊かな

○ 主な歳出から ○

震災対策費

土木がけ崩れ対策費
9億1,000万円



風当地区の工事現場

被災農業者農舎等

復旧支援
6,097万円



完成した牛舎

文化財保存管理

補助金等
8,384万円



宮山八王社と下小森二の宮神社

みんなで貯筋して元気な老後を
介護や認知症対策として
介護予防体操・スーパーサロン事業



活用して下さい!!
・福祉タクシー券 500万円
・特定不妊治療費助成 90万円



平成31年度村内の主な取り組み

令和元年は事業量が過去最大のピークを迎える!!

◆6集落の宅地再生事業本格化

- ・村民グラウンドの活用
- ・風の里キャンプ場のリニューアル4月11日～運営
- ・7月予定、木造仮設住宅を村営住宅へ
- ・仮設住宅のB棟に入居者の方々を集約し、点在解消を図る。
(入居率はピーク時の15%を予想)

◆国・県事業

- ・大切畑大橋の復旧
- ・大切畑ダムの着工
- ・県道熊本・高森線の全線開通を



平成30年度一般会計補正予算 26億4,090万円が追加され、 予算総額81億3,727万円に!!

- ◆ 主な補正は、被災が大きかった集落の宅地耐震化推進事業費24億8,550万円の増額補正。
 - ◆ 小中学校エアコン設置工事費1億767万円
- 各特別会計補正予算



布田地区の集落再生工事

項目	増減	総額	主な内訳
国民健康保険	2,962万円減	9億7,100万円	療養給付費の今後の支払い見込み額の減額
介護保険	2,180万円減	7億9,074万円	介護サービス等諸費の減額
後期高齢者医療	530万円減	1億6,823万円	後期高齢者医療広域連合納付金の減額
中央簡易水道	72万円減	1億532万円	
工業用水道	300万円増	2,081万円	

主な議案

- ★西原村いじめ問題対策連絡協議会等条例の制定について
- ★西原村課設置条例の一部を改正する条例の制定について
- ★西原村営住宅条例の一部を改正する条例の制定について
- ★指定管理者の指定について『萌の里』
- ★大津南部工業団地の水道分水に関する協定書の締結について
- ★工事請負契約の締結について
- ★西原村副村長の選任について
氏名：目床 順司(選任)
- ★西原村教育委員会委員の任命について
氏名：加藤 みな子氏(再任)



目床 順司 副村長



加藤 みな子 教育委員

審議し全議案可決成立

平成31年第1回定例会 質疑応答

《議案第14号》

いじめ問題早期解決 に条例制定

【問】西原村学校支援協議会で協議されてきたが対応が厳しくなってきたのか。

【教育長】学校支援協議会にて調査審議する形で取り組んできた。本条例の設置により、早期解決を図ることはもちろん再調査委員会を設置することで、再び調査・検証が可能となる。

【問】調査委員会メンバーに、専門家はおられるのか。

【教育課長】外部より弁護士・心理カウンセラー等を含めた人員で構成している。

《議案第19号》

平成30年度西原村一般会計補正予算(第8号)について

【問】合併浄化槽を設置している、震災を受けた場合次の設置に補助金はあるのか。

【建設課長】熊本地震に対応する合併浄化槽設置補助金がある。

【問】地域支え合いセンターは来年度までだが、その後の対応は。

【村長】仮設住宅がある限り続くと思う。その後の運用は被災者支援の意味合いから行っていく。

《議案第25号》

平成31年度西原村一般会計予算について

【問】健康増進法の改正で公庁などの禁煙が義務付けられることになる、村の庁舎対応は。

【村長】屋外で受動喫煙を防止するため、必要な措置がとられた場所において喫煙場所を設置することができるので、設置したい。

【問】震災時、災害支援システム運用には多額の費用を要している、もつと安いシステムもあつたと聞かすが、選定導入の経緯と効果はどうか。

【副村長】県からシステム提示があつたが、西原村においては少ない人数や他県からの調査員では、罹災証明が早く発行できない事が判明し、今のシステムが最良と判断した。このシステムにより固定資産・住民基本台帳・住民世帯台帳などの入力が自動的にでき、義援金の配布・解体・見守り等々住民の被災者支援という形で活用している。
また、国も注目され何度も調

査に來られた。内閣府にも説明に行つてゐる。

【問】集落復興事業費2,400万円の内容は。

【震災復興推進課】被災された6集落で委託業者が住民との話し合いを行い、その内容をリーフレット等の便りを作成し、集落の方々に発信するものである。

集落再生後の空き地バンク制度開始

【問】空き地バンク制度事業の説明を。

【企画課長】宅地として売買できる物件を調査しバンク登録して斡旋する。調査においては専門の組合にお願いする。

【問】被災農業者経営体支援事業の完了後の消費税納付者への対応は。

【産業課長】ヒアリング等を行い、指導していく。

【問】地域福祉センターも老朽化し手狭になつてきている将来的な計画はあるのか。

【村長】団塊の世代がやがて利用する時期が来るので、増設等も今後検討していく。今は復興に予算を増やしているので、待つていただきたい。

【問】文化財保存管理補助金8,300万円の内訳と、地元負担への対応は。

【教育課長】宮山八王社4,511万円、小森神社3,124万円、鳥子神社752万円で、金融機関や施工業者にも地元負担が極力軽減できるよう協力依頼をしていきたい。

平成31年度西原村一般会計予算について

【問】歳入で健康保険税がマイナスとなつた要因は。

【税務課長】加入世帯及び加入人数の減少、低所得者の方に対する軽減処置での増加です。

《議案第29号》

平成31年度西原村中央簡易水道事業特別会計予算について

【問】水道事業統合認可申請2,000万円の委託料とほとんどが。

【建設課長】水道組合等が、簡易水道へ合併されることで給水人口が上限を超え、上水道事業への移行となる。許可申請を取るために、予算措置をした。

Nishihara VILLAGE 質疑応答

平成31年第1回西原村臨時会／1月9日

◎復興事業には、地権者間の承諾が必須!!

《議案第2号》

平成30年度西原村一般会計補正予算(第6号)について

【問】崖崩れ対策費の財源内訳は、
【総務課長】2分の1を国庫補助金、残り2分の1を100%起債で充てる。今回分の交付税措置は95%です。

《議案第3号から議案第6号まで》
工事請負契約の締結について

【問】どの段階で、用地交渉、境界立会は、実施されるのか。

【震災復興推進課】集落再生事業について、地籍調査の資料を基に境界を復元していく。

まず、道路拡幅計画の箇所や新たに公共用地を取得する所を復元し、用地測量完了後すみやかに境界立会を実施する。

住民境界については、施工に合わせて随時実施する。

【問】地権者の方で、図面ではわからず、実際に自分の土地がどうなるのか、なかなかわかりにくいとの事、その対策は。

【震災復興推進課】地権者間の擁壁をつくるときには受注された業者とともに現地で充分な説明をしていきたい。

平成31年第2回西原村臨時会／1月28日

《議案第12号》

工事請負変更契約の締結について

【問】請負契約変更が多すぎる。当初契約は何だったのか。

【村長】莫大な事業量で、約百二十七、八億円ほどあり、暫定で出していかなないと全ての工事が終わらない。また、村全体的に工事を行うために予算を配分し発注しているため。

【問】膨大な工事量について震災復興の職員が対応している、その職員にかかる負担が課題であると思うが、どう対応するのか。

【村長】オーバーワークになった職員個々の労力を減らすためにも、今後県内外を問わず土木技術職員確保への努力を続けていく。



平成31年第3回西原村議会臨時会／3月25日

《議案第32号から議案第47号まで》

工事請負変更契約の締結について

【問】防火水槽以外に消火栓の工事はいいのか、住民の意向なのか。

【震災復興推進課】集落再生計画時、消火栓ではなくて防火水槽の設置をという住民からの希望があった。



畑地区の集落再生工事

【問】公民館・公園・道路の用地はまだ契約をされてないがどうするのか。

【震災復興推進課】用地の契約には内諾をいただいている、工事の進捗に合わせて早急にやっていきたい。

一般質問

堀田 直孝 議員



防災士の育成と組織化は

【堀田】全国各地で図られている地域防災のリーダーとなるべき防災士の育成と組織化は如何か。

【村長】防災士は現在、熊本県内に2,000名の方が認定されており、西原村には4名の方が資格を持つておられる。

大規模災害時には、役場職員だけでは避難所等の運営には限界があり、自助・共助・公助の考え方が基本となる。役場職員と地元集落の役員の方々を中心に避難所運営を行い、この中で、地域住民リーダーとして防災士の方にそのリーダーシップと見識を発揮して頂きたいと考えている。

【堀田】熊本地震後、防災士の役割が見直され、各自自治体で防災士の養成が行われており、本村においても是非必要ではないか。

【村長】防災士の養成は地域防

災向上に有効であると考えており、今後、区長会議や消防団の幹部会議、広報を通じて防災士の育成講座の参加を呼びかけたい。県下45市町村の内町では3町、市で5市、合計8市町が防災士の資格を取るための助成を行っているので、本村においても少し勘案しながら進めて行く。



防災士養成講座

がん先進医療における助成制度の導入は

【堀田】現在、日本人の死因第一位が癌であり、誰もが罹る病気である。本年度予算でも住民健診・大腸がん検診・女性がん施設健診等の予算が計上されているが、昨年度の健診の癌発見率は。

【村長】受診率は民間で受診されている方は分からないが癌発見者は4名であり、本年度からは前立腺がん検診もいれた。

【堀田】癌が発見されて治療が終了するまで健康保険で約600万円から700万円かかるといわれている。治療の方法も摘出手術、放射線治療、ホルモン治療、抗がん剤治療等がある中で、画期的な先進医療の粒子線治療を受ける患者が増えてきたが、この粒子線治療は健康保険の適用が出来ず実費の約300万円を自己負担することになる。もし、生命保険に加入していない子供が小児がん等でこの治療を受ける場合、

大変な負担となる。他県の鹿児島・群馬・長野・静岡・愛知・佐賀県などで貸し付け、利子補給、一部助成等の治療の助成が行われているが、本村においてもこのような助成制度はできないか。

【村長】本村においては、まだ考えていない。県においてそのような方向に進むのであれば、村も検討する。



がん先進治療

防災士の育成について がん先進医療における助成制度の導入は

村長／地域防災向上に有効！助成制度については、まだ考えていない！

一般質問

坂本 隆文 議員



仮設住宅の集約方法と住民の意見に対しての対処方法は
西原村の両小学校の生徒数が偏っているが対策はしないのか

村 長／住民の方々への個別相談と負担軽減などの最善の方法での集約を考えている!!
ゆくゆくは校区編成もしていかねければと感じている!!

集約方法と住民意見への対処法は

【坂本】みなし仮設住宅及び仮設住宅の入居延長は、集落再生等で家が建てられない理由がある方のみ延長が認められ、その後、仮設住宅の集約が行われると聞いている。集約方法と住民の意見に対しての対処方法は。

【村長】仮設住宅は最大時307世帯有り、現在(平成31年2月末)118世帯で入居率は38%空き部屋が目立つようになり、その空き部屋が有ることにより「住民の孤立化の問題」「防犯上の問題」「地域コミュニティの維持・継続」等様々な課題が出てきています。これらの課題を解決するため、平成31年7月8日を目途に小森仮設団地の集約にご協力頂きたいと考えています。集約場所は木造仮設住宅隣のB団地になります。

集約に関して「自治会の運営」「既存設備に設置した手すりやスロープの移設」「駐車場の運用」等様々な意見を頂いております。これからも個別相談会を実施し

住民の方々の意見を出来るだけ取り入れ、入居される方の負担が少なくなるよう、最善の方法で集約を進めて行きたいと考えています。

【坂本】今回の入居延長に対して、入居出来ない方で行き場のない方は一人もいないのか。

【村長】全ての方の聞き取り調査は終わっています。子ども世帯と同居される方、賃貸住宅に入られる方・施設に入られる方等で再建先が不明な方は今のところ一人もおられません。

小学校の生徒数が偏っているが対策は

【坂本】本村の2つの小学校の児童数は極端に差が有りすぎている校区編成が必要ではない

か、又、人口を増やす意味でも河原活性化の観点からでも小さい子供がいる家庭などを優遇し、河原地区に目的のある住宅地をつくる事はできないでしょうが。

【村長】毎年河原小学校の児童数は減少している。村独自の取り組みとして村費負担で教師を採用する事で複式化を回避してきた。また、山西校区から河原小学校に通学する児童に対して補助するなどの対策を行ってきたが、少子化の影響もあると思う。現在の児童数を維持するのが精いっぱい児童数の増加が短期間では見込めない。将来的には校区の再編成も検討していく時期がくるのではと思っている。

【教育長】この問題は1つの小学校問題ではなく西原村全体の問題だと認識しています。

基本的には河原地区の人口を増やす事が一番の解決策だと思っておりますが、移住者のための住宅地

を提供して頂く事や住民の方々の理解も必要だと思います。これからも保護者等々の連携をとりながら検討を重ねるといふ姿勢で行きたいと思っております。



河原小学校 新1年生

一般質問

西口 義充 議員



災害時に頂いた支援物資の活用方法は

【西口】トレーニングセンターに保管されている災害時に頂いた支援物資の活用方法は。

【村長】保管している支援物資は西原村の災害時等に使用させていただきたいと思っています。また、他の地域で起こった災害に対して支援物資として使用したいと思っています。まず、保管中の資材等を再調査し、活用出来る物は保管していきます。

【西口】支援物資の保管場所になっているトレーニングセンターは地震により痛みが酷い。今後利用についてどのように考えているのか。

【教育長】昭和57年農村定住促進対策事業で造られ、現在36年目になっています。耐用年数には限度があり、地震でも傷んできている。今後支援物資の保存場所を確保する場所が必要であり

ますが、今は住民の方の宅地復旧工事に全力を注ぐ時期であり、トレーニングセンターの利活用については提案を踏まえながら今後検討し進めていきたいと考えています。



老朽化したトレーニングセンター

【西口】提案として、解体費用が5千万円以上必要であれば、解体より、トレーニングセンター

の活用方法があるのではないかと、野球・ソフトボールのピッチングやバットイングの練習場・テニスコート等のセンターとしての利用はどうか。

【村長】第二に安全面を考え、学童野球の雨天練習場やキャッチボール・トスバットイング、テニス練習場やお年寄りのゲートボールなど出来るかどうか検討していきたいと思っています。

アンケートへの対応と人口を増加させる為の計画は

【西口】村の土地利用計画と村づくりについて総合計画アンケートの結果をどの様に考えておられるか。

【村長】前期の基本計画が終了するにあたり、後期の基本計画

を策定する中で、本村在住20歳以上の方々に無作為でアンケートを送付、回答率は43.3%であった。回答者の愛着度は5年前の結果とほぼ同じで、地震による被災度の大きい方の愛着度が高いと現れた。一方、本村に住み続けたくない理由の上位には買い物に不便などの意見が上がっている。

5カ年の後期計画にアンケートを見ながら反映していきたい。

【西口】20年後の子どもの発表での思いにどう答えることができるのか、将来、村の人口を増加する為の計画は考えているのか。

【村長】人口的に大型ショッピングセンターというのは難しい所もあるのではないかと。商業地を造る前に人口を増やす方が先だと思っている。

西原村は農業が基幹産業で大きい道路は殆ど農振がかぶっている、色々な角度から検討し進めていきたい。

トレーニングセンター保管の支援物資の活用方法は 土地利用と村づくり総合計画アンケートへの対応と人口増加計画案は

村長／村の災害時等と他の地域で起こった災害時でも活用を考えている!!

後期計画へのアンケート反映や色々な角度からの人口増を進めていきたい!!

西原村復興対策特別委員会報告

上野 正博

木造仮設住宅50戸は改修し村所有の単独住宅として活用する。312戸あった仮設住宅も113戸36.2%となり住民の孤立防止のため団地内西側に集約する。集落再生事業は6集落の工事発注が本年1月に終えた。発注率は、

- ・急傾斜地崩落対策事業(防災がけ崩れ)……………73%
- ・宅地耐震化推進事業……………59%
- ・小規模住宅地区等改良事業……………31%

国・県の発注工事については、県道熊本高森線堂園・土林間は32年1月だが、片側通行の目処も立っていない。

堀切・布田間は本年5月終了予定、治山工事は70%出来ている。

布田川砂防堰堤の工期は32年末、現在、長さ112mの本堤が30%進捗している。

国直轄工事の大切畑大橋の通行予測は、今年の秋ごろである。

国の2次三月補正予算で、25億円と当初予算8億円の予算が新たに確保されました。



合同常任委員会報告

平成31年2月14日

場所/児童発達支援多機能型事業「あそびいびらす」……旧白水中学校跡地
近年西原村においても、支援を必要とされる児童が増えているので支援事業所を視察した。

【事業内容】

1. 児童発達支援事業・就学前の児童(0歳～6歳)

概要：活動を通し、身辺面や運動面、言語面、コミュニケーションスキルの獲得を図るため発達段階に応じた活動を取り入れ支援。

療育：単独グループ療育・個別療育・家族療育・運動あそび療育

2. 放課後等デイサービス事業(6歳～18歳)

概要：放課後は宿題支援をはじめ、個に応じたプログラムで過ごす。学校休業日はクッキングや施設外療育、体験的な療育を中心に行い、人数や発達に応じて複数のグループに分かれて療育する。

療育：単独グループ療育・個別療育

3. 保育所等訪問支援事業(全年齢対象)

概要：通園・通学されている園や学校で安心して活動や授業に参加できるよう、スタッフが園や学校を訪問し支援を行う。保護者からの依頼のもと、園や学校の先生や支援者と打ち合わせを行い、状況に応じて直接的な支援間接的な支援を行う。

どんな子供達が利用しているのか

運動面・言語面・身辺面・コミュニケーション面・行動面などに支援が必要とされる子供。

※西原村(利用している児童生徒)

児童発達支援事業……………就学前の児童(0歳～6歳)14人

放課後等デイサービス事業……………(6歳～18歳)42人

今後も西原村の福祉、学校についてどう取り組んでいくべきかを議員全体で検討した。



熊本県後期高齢者医療広域連合議会定例会報告

平成31年2月14日(開会)

熊本県後期高齢者医療連合議員 堀田 直孝

平成31年第1回熊本県後期高齢者医療広域連合議会定例会が開催された。

本議会では、議案第1号から第9号まで上程審議され、全ての議案について採決の結果、賛成多数で可決された。

・平成31年度熊本県後期高齢者医療連合一般会計予算⇒可決

広域連合の運営等に関する経費 歳入・歳出予算の総額……………2億8,626万円

前年度と比較…約1,064万円《3.87%増》

・平成31年度熊本県後期高齢者医療連合後期高齢者特別会計⇒可決

県下、約28万人の被保険者の医療給付経費 予算の約98.5%…「保険給付」

被保険者数及び給付費 歳入・歳出予算の総額……………2,864億2,173万2,000円

前年度と比較…約14億4,000万円《0.5%増》



請願書審議 《請願受理番号1番》

河原小学校複式学級解消に関する請願

【請願要旨・理由】

- (1) 各学年の少人数体制に関係ない単式学級、1学年1教室にされるよう請願いたします。
理由:河原地区の少子化対策を目的に河原活性化委員会河原小学校部会を開催実施してきた。河原小学校に通う児童の教育環境の向上と活性化を目的に活動を行ってきた。河原小学校児童により良い教育環境提供と特徴あるコミュニティスクールを行うことができるように現状の教員数を維持し、充実を図って頂きたい。

【請願項目】

- (1) 各学年の少人数体制に関係なく単式学級、1学年1教室で教育環境を児童に提供して頂きたい。
(2) コミュニティスクールの教育体制を強化するため、現状の教員数を維持して頂きたい。

《審査結果》

全員一致で産業教育委員会へ付託(閉会中の継続審査)されました。

※継続審査とは…議決によって委員会に付託した案件を閉会中でも委員会で審議し、次の会期に継続すること。



よって
YOTTE IKINASSE
いきなっせ
西原村発信

Shirayama Hime Jinjya

白山姫神社社殿再建!!

今回は熊本地震により全壊
その困難を乗り越え再建

山下一義

地域の方々に愛され心のより所でもあります。白山姫神社が平成30年11月6日に再建されました。

白山姫神社は宝徳2年(西暦1450年)肥後国守阿蘇惟松公の勧請により、家臣の緒方経正が白山信仰の総本宮加賀の国(現在の石川県)白山比咩神社から村内の鎮守の神として小野の地に鎮座されたのが始まりと伝わっております。

また、御祭神菊理媛命は白山姫大神として全国各地に広くお祀りされ生活守護社であることから「いのちの親神さま」と仰がれ、信仰されております。

この度の社殿再建設は、神社本庁を始め全額寄附で完成となりました。



再建された社殿



職場から SHOKUBA KARA KONNICHIWA こんにちは

今回久々に行われた、
官と民の両保育園の年長
さんの交流会についてご
紹介いたします。



阿蘇こうのとりのり保育園
TEL 096-279-4651 FAX 096-279-4649

所在地／〒861-2403 西原村布田1004-7
保育時間／短時間保育 8:30~16:30 標準時間保育 8:30~16:30
休園日／日曜・祝日・年末年始

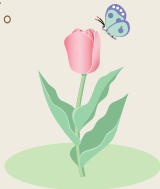
にしはら保育園
TEL 096-279-2054 FAX 096-279-2963

所在地／〒861-2492 西原村小森575-1
保育時間／平日 8:30~17:30 土曜 8:30~12:30
休園日／日曜・祝日・年末年始

阿蘇こうのとりのり保育園・にしはら保育園「交流会」について

平成27年11月に第1回目の年長組同士のふれあい遊びを阿蘇こうのとりのり保育園にて実施しました。また平成31年1月11日にも第2回目となる交流会を実施いたしました。内容は村民グラウンドにおいて阿蘇こうのとりのり保育園年長組(15名)とにしはら保育園年長組(31名)とで「凧あげ大会」をおこないました。当日は、晴天に恵まれ、子ども達は気持ち良く凧あげを楽しむことができ、また担任同士や園長・主任での情報交換もでき、有意義な一日となりました。最近では、あまり凧あげをしているこどもたちを見かけませんが、日本の伝統文化を継承する意味も含めて今回実施しました。

小学校に入る前に顔見知りとなり、この機会にお互いおともだちになって、学校でも仲良くなってほしいと願っています。そして、こういう機会を通じて私たちも情報交換や意見交換などをおこない、お互いの保育園がより良くなるよう今後も努力していきたいと考えています。



- 発行責任者**
議長 宮田勝則
- 広報委員**
委員長 坂本隆文
副委員長 中西義信
委員 林田直行
委員 村上高志
委員 堀田直孝

故富永重芳氏像
震災から3年が経ち、村も着実に復旧復興が進み県内トップで完成した災害公営住宅にも、入居者の安心された生活が伺える。さて皆さんは災害公営住宅(山西団地)のどんぐりの森の一角に胸像が建立されているのを知っておられるだろうか。この胸像は、村の震災復興の為に多大なご寄付を頂きました東京都稲城市の故富永重芳氏です。故人のご厚情により復興の加速につながりました。心より感謝申し上げます。
文責／林田直行



編集後記